|  |
| --- |
| 感想をご自由にお書きください |
| 良かった |
| 再度メ-ル入れます |
| 制度上の難しさや家族の苦悩が良く分かった |
| 地域で生きていく、これは本人の思いや家族の思い。優先されるべきは本人の意志。当たり前のことなのに、分かった気になっていた自分が恥ずかしく、地域の一員としてできることから始めていきたいです。 |
| 考えさせられる事が沢山あると思い知らされます。 |
| グループホームが増える社会になってほしい。 |
| 一人も取り残さない世の中へ、何が出来るのか、何をすべきかを考えさせられました。 映画で十分伝わったので、監督の話はいらないなと思いました。 自分で感じ取ったままの方が行動に移しやすのにと思いました。 |
|  |
| 親御さん含めご家族の日々の大変さ、子を想う気持ちがダイレクトに伝わり、涙なしでは見れませんでした。 微力でも力になれたら！と思いました。 そんな中、医療的ケアに対しては(慣れ)とは言っても親族と他人の置かれている立場の違いから二の足を踏んでしまう気持ちもわかります。 難しい課題です。 それでも他人事と捉えず自分もいつかと思い、少しでも力になりたいと思います。 |
| 障害に関わる人は、本当に熱いなと感じました。 サービスを提供している実体があるから、制度をを変えるというスタンスは、すごいと思いました。 ケア会議の場面は面白かったという表現は正しくないかもしれませんが、興味深いものでした。 小林さんの言ってる事は正論で、むしろ、坂口さんや小澤さんの言ってることは、無茶苦茶なのに、小林さんが悪者っぽくなってしまっていたり、お世話になってる側のお姉さんから、誠意がないくらいの事を言われてしまったり、介護保険の制度下では、考えられないものでした。（私の狭い経験上の感想ですが、） でも、本音が言えるケア会議は、気持ちが良いものですね。 数年前に、ふつうに生きるを、イオンシネマでみています。 良い映画を見せていただきました。 |
| とても感動する映画でした😢 小沢先生は、偉大な人だと尊敬いたしました。 |
| 親は子の心配をせずに安心して親の死ぬ、子はそれを受け入れその後の人生を地域で過ごす。このことが皆の当たり前になるために自分にはなにができるのか。まだ具体的には見えないが考えて行きます。 |
| 家族特に母親のわが子への愛情がひしひしと伝わってきました。普通に家庭的な環境、雰囲気のなかで暮らせたらどんなに幸せなことでしよう。我が身に置き換えてみました。チームワークや体制づくりの必要性を感じました。 |
| 長い時間寄り添って記録していたのだなぁ感心しました。 |
| 「普通に生きる」は友人にDVDを借りたものの、内容が重そうでなかなか観ることが出来ませんでした。 少し前に急に思い立って観てみたら、みんな笑顔で頑張っていてとても感動しました。 自分の施設でも職員の研修時に皆さんに観てもらいました。ちょうどそのころ、「普通に死ぬ」の上映会を知り、参加させて頂きました。 重症心身障害者の方が自立して一人暮らしをしていることを知り、とても驚きました。 無理だという思い込みのフィルターを外して、自分には何が出来るか考えるきっかけになりました。ありがとうございました😊 |
| 私の知らない事ばかりでした。近所のあそーとに感心を持ちました。 |
|  |
|  |
| 重度の障がいをもった方を受け入れる施設の成り立ちを知れたことはもちろん、地域の中にそういった施設があっても中々施設の活動を知る機会が少ないこともありこのようなドキュメンタリー映画で設立者やご家族の思い等を知れて地域の一員として大変勉強になりました。 |
| みにきてよかったです。パワーをもらいました。 |
| 障がい者分野だけでなく制度を作り上げて行く必要性を　力を感じた |
| 壮絶な映画でした。私には障害を抱えていらっしゃるご家族の気持ち、日々奮闘されている職員の気持ちをも理解できる立場でないですが、同じ福祉業界の一員としてとても考えさせられる内容でした。 普通とはなんだろう…「普通」の捉え方もひとそれぞれですが、地域が支える事は安易にできないとしても、何か自分にできる事はないのかと、自問自答しました。 ありがとうございました。 |
| どちらも考えさせられました。 保護者の皆さんの尽力で、重度障害者の皆さんの自立への道が開かれていったことがよく分かりました。反面、そうでなければ進んでいかなかったのか、とも思い知らされました。 社会として、困難を支えていく意識や土壌がまだまだ出来ていないのだなと思います。 当事者や、その周りの人々、そこに関わりのある人々は理解を示すことが出来るけれど、その外側の人々に、どれだけ「普通に生活して生きていく」が理解されているのだろうか、そんなことを思いました。 教育の人間ですが、もし重度障害者の子どもが来たらと考えると、受け入れるシステムは不完全だし、受け入れる側の理解と知識と意識が、ほぼ無いのが現状だと感じます。 社会全体で見ても、そうなのかなと思います。 生物学、生態学の隅っこにいる人間としては、本能的に重度障害者の皆さんを「異物」と捉えて見てしまうことは否めないとも思います。 だからこそ、同じヒトという生物として、誰もが普通に生きていく権利を行使出来る様に、みんなで支えていくことが、広く理解されるといいなと思いました。  2本の映画は、保護者と、それを直接支える人々の物語だったと思います。 特に初日の会は、直接重度障害者福祉には関わっていないけれど、関心をもっている方の参加者が多かったように思います。 そういった人々が、重度障害者にどのように関わることができ、そして当事者たちが地域と関わることによって、どのように変わっていくことができたのか、そんな物語を見て見たいな、と思いました。 関心をもつ私たちが、立ち上がるためにも。 |
| 映画も、考えさせられることが、多かったですが、監督さんのお話を、伺えて、良かったです。 |
| 機会があれば又観賞したいと思いました |
|  |
| 富士宮市役所では、保育系の課が拡幅、しょうがい療育課の間口が狭まるなどインクル富士の重要性が増す一方。苦闘を続けて来られたみなさまのますますのご活躍をお祈り申し上げます。また映画が障害児育てにもがいている保護者の福音になっていると感じました。ありがとうございました。 |
|  |
| 設立まで困難がたくさんあったかと思います。皆さんよく頑張りましたね。何かお手伝いが今後ある様なら、声を掛けていただけたら幸いです。 |
|  |
| 初めから感動続きで、泣いてしまいました。  私は児童発達支援センターで保育士をしていますが、考えさせられる事ばかりでした。  DVDを購入したので、みんなに観てもらいたいです。 |
| 大変な中にも 沢山の輝いた幸せがあって 精一杯生きてる姿に人としての生き方を 問われた気持ちがしました  支え合う地域の在り方 当たり前になれたら良いと思います |
| ないものを作っていく力は学びたい。 規制の制度の中でしか考えられない人が多いと、枠には収まりきれないことが多いので、 それを考えて実行していきたいです。 |
| 視聴が始まり涙が止まりませんでした。　 母親が子供に対する愛情の深さ、どうすることも出来ない辛さ、乗り越えなくては前に進めない悲しさ… 仲間に支えられて生きる喜びを見いだして行く素晴らしさ、 五体満足な、体を母親から頂いた事に感謝しました。 ありがとうございます。m(\_ \_)m |
| 支援者として障がいを持つご家族に関わっています。とても考えさせられるメッセージを感じました。職場に持ち帰り話します。 |
| 「普通」とは何か。「普通」を誰かが定義づけてもいいのか。誰しもにとって、「普通」の意味するところが広く豊かな世の中にするにはどうすればいいのか。まず、わたし自身の乏しい心を耕すことから始めなければと痛感して帰途につきました。 |
| 当事者の率直な気持ちや意見を普段の生活の映像とともに感じられとても良い映画だと思いました。 |
| 自分が出来る事は何か色々考えさせられた |
| 今回は2度目に見させていただきました 普通に生きて行くことの意義をかんがえさせられる映画で毎日を無駄なく大事に送りたいと思いました。 又何か自分に出来ることはないかと考えました。高齢ですがそんなことを考えました。よい映画をありがとうございました。 |
| でら〜とさんと病院での違い、向島さん自身が一番わかっているんだと地域生活の大切さを感じました。グループホームは施設と同じだと思っていたのですが、障害者、そして家族一人一人に寄り添っているのがすごく良いなと思いました。もちろん一人の支援に対したくさんの方が関わっていることは伝わってきましたが、やはりどうしても一人の人が頑張らなければ地域で生活しにくい状況が見えました。正直家を貸したり、しばらく一緒に生活したりというのができる人が今後増えていくとは思えません。ハラスメントなど言われる世の中で障害者から健常者への善意を求めにくくなっています。介護を担っていた親御さんから地域にいる介助者へスムーズに引き継がれるよう、親御さんが元気なうちから自立に向けて動いていける環境になると良いなと思いました。 |
| 重心の人が自立して生涯生きていける(普通の日常をおくる)ための制度や地域改革していく素晴らしく力強い作品だったと思います。 最後、沖さんが富士に移住して活動をされていることを知り、心が震えました。 ありがとうございました。 |
| でらーとの設立までの道筋について初めて知りました。地域と共に生き、みんなが成長する社会になればと思います。是非多くの人に鑑賞して欲しいです。 |
| 誰もが普通に暮らすために、親御さんだけが頑張るのではなく、当たり前に暮らすための仕組みが必要だと感じました。 |
| 事業所設立に対する様々な方のご努力、ご苦労に感服しました。法的な改正に関してもわかりましたが、最近の物に対しても理解出来ると良いと思いました。親御さんのおもい、子供達の笑顔に涙です。 |
| 普通、も自立も、考えていく、ということなんだな😃と思いました。 |
| 親の自分たちよりも先に逝かれるのも本当に辛いけど…子供を残して逝くのも辛すぎる。 もっともっと障害児、者が思うような支援を受けて その人らしく生活できる環境が出来ることをお願いしたいな。と思いました。 自分の子供も障害児で…動ける子なんですが… 自立ができていない部分もあり就労先は生活介護 になります。動ける子達の様子なども見れたらよかったかな。とおもいました。 でも今回の映画は本当に素敵な作品でした。 ありがとうございました。 |
| 重い障害のある方をジロジロ見ちゃいけないと思っていたので、映画を通じてですが、障がいのある方をあんなに注視したのは初めてだったので、圧倒されました 親御さんの愛情はすごいと思いました |
| 普通の生活とは、何なんだろう、そんなことを改めて考えました。毎日を、そして今を生きる、その大切さを学べました。自ら動いた小澤さんの力は凄いです。小澤さんの力は、小澤さんに天が与えたもの、論語の孔子が説いた、天の力、それを徳と孔子は言ってますが、本当の徳というものをこの映画の姿に感じました。 |
| 親の思いの強さを感じました。それと同時に事業所の責任感の強さも感じました。 お母さんが亡くなってしまった医療ケアのある2人の利用者さんは結果グループホームに入れてよかったかもしれませんが、急遽そのように手配できた事は奇跡的です。対応できる環境がなければ無理ですし、全員希望の場所で生活ができるわけではないですし。一歩引いてみると、それまで先を考えてこなかった家族が、その場面になって初めて将来を考えた、、ともいえそうですね。そうないために親が若いうちに先を考えることが大事だと思いました。いろいろ考えさせられました。 12年間重度のグループホームを運営して携わってきた職員には頭が下がりました。 |
| 生きることとは、死ぬこととは、普通ってなんだろう、といろいろ考えさせられる内容でした。 |
| 観たいと思っていたので、今回上映してくださり本当にありがとうございました 家族皆でまた観たいと思いました 大変共感し涙涙でした |
| インクルーシブの時代だと言われていても 介護を必要とする方々の生活を知る機会がなかったので上映を通して一端でもを知る事ができてとても良かったと思っています。 優しい輪が広がって生きやすい世の中に近づく事を願わずにはいられません。 監督さんのメッセージもしっかりと受け止めさせて頂きました。 上映して下さりありがとうございました。 |
| みなさん、パワーがあると思います |
| 職場のご家族(沖さん)が出演されていて、驚きました。ご家族と支援の方々の努力が大切と感じました。上映ありがとうございました。 |
| たくさんの方にみていただけるといいなと思った。 子どもを見届けてから死にたいなんて、奢っていた（聞き取れなかった）間違っていたという言葉は素晴らしいなあ！と思った。 |
| 社彼らの魅力、社会の問題点。 当事者と接点がない人、関心がない人にぜひ観て、知ってほしい映画でした。 ありがとうございました。 |
| 重度の障害を持ったお子さんを持つ知り合いの方がいるので、観に来ました。 親御さんの気持ちを改めて知り、私たちに何ができるのかを考える機会になりました。 私自身、親のサポートや介護を10年行い、親と私の気持ちや生活をどうしたら良いのか考えながらの10年でした。 また、医療行為に関わらなければならないとなった時のヘルパーさんたちの気持ちも痛いほどわかります。 場面場面でとても考えさせられましたし、これから、自分に出来ることしたいと思ってました。 ありがとうございました。皆さんの笑顔、素敵でした。 |
| 笑顔が輝いていました　親子さんたちは日々大変な思いで介護していることを感じました、頼れる施設があることを有難いと感じます |
| 知らないことがたくさんありました。 小沢さん、坂口さんの行動力。スタッフさんたちの熱意。ものすごいなあと思いました。 制度が整うまで待てない。目の前の問題に対してできることはやる、という強い意志を感じました。 貞末監督の熱のこもったお話も思いが伝わりました。 上映会に参加して良かったです。 |
| 当事者家族です。普通に死ぬを初めて拝見させていただきました。ありがとうございます。 映画はとてもリアリティで、私が経験したことのない様々な場面を知りました。 子ども達の仕草や笑顔、そして泣き顔が印象に残りました。 最後の監督さんのお言葉の中で、私達の子が支援いただいてるお金をどう地域に落とせるか、考えさせられました。 |
|  |
| 前からみたいと思っていたので今回機会がありありがとうございました。障害者と言う視点ではなく一人の人ととらえると地域や社会生活を送って行くのが当然だと思います。親子さんの思いや私達一人一人の考え方や地域や行政が力合わせてすみ良い町にして行きたい。子ども達の笑顔や声に出さなくても表情をみたら何より病院ではなく地域や家、社会とのつながり大事だなと思います。障害者や老人介護などで離職など地域で使えるサービスや家族のサポートしてくれる場所が増えること願います。 |
| 障害者がどのような生き方や生きがいの受け皿やどのような幸せな死に方を考えさせられました。 |
| なんてこどもたちの笑顔がかわいいんでしょう！眩しいのでしょう！今すぐにでも抱きめたくなるほどのみんなでした。 お母さんと離れる事の何とも言えない感情。そして、病院ではなく、デラートやインクルさんの第2,のお家・ともいえる場所である意味を深く感じました。 お母さんたち。お父さんも勿論ですが、子を思う母の愛の限りないものに、軽々しく言葉にしてはいけない程の圧倒的なものを感じています。 訪問医、大塚先生が映った時は驚きました。 私が在宅看護で母をみて、看取ったときすべての過程に寄り添って下さった方。 感激でした。 今回は大切な本当の事を映像からメッセージを頂いた思いでいます。 このような機会を本当にありがとうございました。 そして、２０周年おめでとうございます✨ |
| お母さんの病気治療のために、静岡富士病院へ入所することになった時の育雄さんの叫び声・・胸が詰まりました。そして(食事の時でしたか)興奮が収まらないからと、管に鎮める薬を入れられて・・そんなふうに医療行為がなされることの怖さを思いました。でらーとに再び通えるようになって、笑顔が戻った育雄さん。大事なことを問いかけられた思いがします。 貴重な記録映画を観させていただいて ありがとうございました。 インクルふじの活動が益々広がっていかれますように！ |
| 前回、普通に生きるを見て、感動しました。今回の普通に死ぬのお知らせをいただいて、とにかく見たかったです。手応え十分で感動しました。重心の方たちが社会で生きていくこと応援したいです。 ありがとうございました。 |
| 静岡市でも、上映してほしいです。 監督、伊丹の清水さんたちの映画を是非制作お願いします。  今回考えさせられました。息子可愛いで、手放せない思いでしたが。これを見て、やっぱり親が子離れしてあげる事で親なきあと、息子が安心して暮らせる場所を亡くなる前に探し離れる事の大切さ。自分の背中を押して頂ける作品でもありました。 悩んでましたが、一歩踏み出せます。ありがとうございました。 |
|  |
| 最後の挨拶が長すぎたと思います　20分もありました |
|  |
| 他人事とは思えずよかった |
| 普通に生きて普通に死ぬ大切さを学ぶことの大切さを学ばせていただきました |
| かなり前　でら～とを立ち上げた当初に数年間、ボランティアとして関わらせていただいたので、とてもとても懐かしくみさせていただきました。懐かしい利用者さん、職員さんのお顔を見て、お話も聞いて、涙が出ました。 色々な場所で上映する機会が増えることを願っています。 |
| 子どもたちの日常がよくわかり、その大変さと、そこから前を目指す子どもたちと親の姿に感動しました。私も負けない生き方をしたい。 |
| 「普通に生きて死ぬ」普通とは？普通じゃないというのは？自分と違う人ということ？ |
|  |
| でら～とへボランティアと入っていたころの人達と映画で逢うことができました。生みの母がいて、父がいて姉妹兄弟がいて、人生がつながっていきます。スタッフの皆様ご自愛ください。 |
| 今日は良いものを見せてもらい大変勉強になりました。今まで生きてきてそれが普通と思っていました。それが違うということ、もっと気づきをもって世間のことを見聞きしないとだめだと気づかされました。本当にありがとうございました。 |
| 障害を持っている人も持っていない人も自然に死んでいく、その繰り返しの中で自分が生きて自分の死んでいく、でもその中で自分たちの現実を自分たちの思いの方向性に変えていける親の皆さんのパワーに圧倒されました。ありがとうございました。 |
| 「普通に生きる」「普通に死ぬ」ごくごく当然のことながらなんと難しいことか！深く考えるきっかけをいただきありがとうございました。考え続けていきたいです |
| ふつうに生きること、ふつうに死ぬことの本当の意味をつくづく考えさせられました。イクオさんの叫び声と笑顔忘れられません。 |
| 初めて見る映像にびっくり 人はどんな時でも感情がある、人に対しての気持ちは、自分思う気持ちは、伝わることがわかりました　ありがとうございます。 |
| 出演の皆様が普通の人生を追求する中で経験するさまざまな困難な状況が映し出されており、その内面の葛藤や成長に共感しながら、自分自身の人生についても考えさせられました。 特に、ご家族が障害を持つ方を「生産性があるかどうか」という言葉で捉える場面を見て、社会がそう感じさせてしまっている事に胸が痛くなりました。 この映画は、人生の意味や喜び、苦しみについて真剣に考えさせるメッセージを持っており、拝見した最後には清々しささえも感じました。 より多くの人々に観てもらいたいと願っております。 |
| 富士市にでら～とがあるとはこの撮影の作品を見るまで知りませんでした。みんなのめいっぱいの笑顔がとても印象に残りました。長い撮影期間お疲れさまでした。また機会があれば見たいと思います。　楽しみにしています |
| 重度障害の人との関りは重いテーマだと思いますの。それを普通にやっている方々に脱帽です。人として普通に生きること、死ぬことの尊厳を重く感じました |
| 当事者の方々のことは大変尊敬しております 人として皆、幸せに生きる権利がありますので、これらの事業が今後ますます発展していけますよう応援しています |
| 「普通に生きる」障害者とその保護者の話のみかと思ったら、設立運営者の成功談を聞けて良かった。お子様二人が障害者の小沢家は苦労も多かったろうが、4人の結束は「普通の家族」より強かったのではなかろうか。私は沼津市在住で東京の孫が障がい児だが、やはり東京のほうが支援が進んでいるように思う。既に映画製作から13年たってしまっているんで、直近の状況を知れたら幸いである。 　「普通に死ぬ」究極の課題の普通に死ぬは在宅で必要なケアのみを受けて死ぬというごく当たり前のことをするまでの葛藤がうまく描かれている。特に看護資格の有無に 関する賛否両論には、受ける側とお願いする側の合意形成がいかに難しいかを感じた。このような介護の現場を各地域での「経営」ととらえ、頑張りすぎないことが重要である。あそ～との開所は本当にめでたいことで、お役所仕事ではなくこのような活動を健全な「経営（地域内の共生社会）」と評する社会になることを望む。かくいう私は「はじめの一歩」を考えねば…  清水氏の理念が素晴らしい　登場人物が多く頭が混乱 |
|  |
| 映画で取り上げられた障害者の方が死去した時の映像を見て悲しくなった。 障害者の方もその家族の方も普通に暮らせる社会を目指してほしい 少子化も含めて地域全体で子どもや障害者の方を支えていくというのは大事だと思う |
| 母の介護に疲れていましたが、元気をもらいました。ありがとうございました |
|  |
|  |
| 家族の方たちの奮闘ぶりに感銘を受けた 富士宮のお店に機会があれば行ってみたい |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
| 貞末さんのご苦労がお話を聞いてよくわかりました 80才の私は普通に年相応に生きてきましたが、あと何年生きられるかどのように死んでいくのかと…勉強になりました。生も死も自立するまで人のお世話になるのだと今更ながら感じました。日本の政治の貧困を感じ、この映画は大勢の方々に観てほしいですね…。貞末さん小沢映子さんありがとうございました。（この映画を全国に広げてほしいです） 西宮の青葉園の方の考え方素晴らしい、みんな声を出していきたいですね |
| 長く高齢者福祉に従事していますが、考えさせられました。市町によっての格差、仕組みがまだまだ不十分な中、尽力されている方々には頭が下がります。 |
| この映画は、重度の障害があってかわいそうという話ではなくて、困難に直面した時の心の持ちようを教えてもらったように感じました。初めは死にたいほど受け入れられないけど、徐々に人と繋がり、必要なのにないものは自分たちで作り、その困難のおかげで社会が変わる。 『いろんな人と関わることで、その子が光る、そしてその親も輝く。』 最後に監督の「分かった気になっていた」もなんだか心に残りました。私も子どもたちや親御さんやいろんな人からまだまだたくさん教えてもらって、地域でやさしい社会をつくる担い手になっていきたいなと思いました！ あと、映画で小沢さんが「1000人に話しても聞いてくれるのは20人動いてくれるのは2人。」と話していたこと。でもやり続けることでこんなに形になる。私もやり続けたいなと思いました！　この映画に1000人ほどの方が参加されていたことはまさに、繋がりなんだなと思いました。すごいっ！ |
| 普通い生きて普通に死ぬ、改めて考えているところです。重度の人たちだけの問題ではないと思いました |
| 私も福祉の手伝いを若干行っておりますが、一生懸命生きる姿に感動、又笑顔に大変いやされます。今後もこのような催しをお願いします |
| 一歩前に進まないと何も始まらない、重度の知的障害のグループホームも歩まないと、 |
| 飾らず気負わず、人が生きることの美しさを感じることができました。地域の財産という言葉が心に残りました。 |
| 障害者の方たちと自然に寄り添って共に生きる社会になってほしいと願っています |
|  |
|  |
| 胸がいっぱいになりました。あの笑顔!!別れの泣き叫び！声としてでなくてもよく気持ちが伝わりました。 家族の思い、スタッフの思い、皆さんのお気持ちがよくわかり、こんなに良い場所があったんだと |
| でら～とが開所して間もなくボランティアさせていただいていたころを思い出しながら、懐かしくみんなの笑顔を思い出しながら見させていただきました |
|  |
| めっちゃ感動しました。グループホームをもう少し作ってほしい。障害があっても生きる必要がある。普通に生きる、普通に死ぬって当たり前なんだねって思いました。 またこの映画を全国に広めてほしい |
| 障害のある方の明るい笑顔、ご家族や支える方々の前向きな生き方が素晴らしいと思います。 富士地区に充実した施設が増えることもよかったです。小沢映子さん田邉さん、沖さんはじめスタッフの皆様これからも応援しています。 |
|  |
|  |
| 普通に死ぬを観賞しました。障害のある方が地域で暮らしていって、普通に生きていっていただきたいと思う |
| 知識不足でしたので、いろいろと分かり参考になりました |
| また観たい |
| 知らないことばかりでしたが、少しでもかかわりができればいいと思っています ありがとうございました。 |
| 自分では見えない経験をさせていただきました |
|  |
| 貞末さんのお話、心にしみました |
| 私が毎日散歩コースにしている所が富士宮のグループホームらぽ～ととみや～との横です。そこではじめて「普通に生きる」のレリーフを見たとき胸にズンと響くものがあり、それを短歌にして歌会に提出しました。その時「普通に生きる」が歌会で話題になりました。その中の一つの意見で、障害のある人に普通にというのは無理で大変ではないか？どういう意味でレリーフにまでそんなことを書くのか、というようなことを言われたことを思い出しました。 今日この映画を見させていただく機会があり、画面に映し出された笑顔が何とも言えないもので新たに感動を覚えました。誰でも平等で普通に生きる権利があると改めて思いました。スタッフの情熱に脱帽です。 |
|  |
| ご縁があって幼児期に関わらせていただいた方たちと久しぶりに（スクリーンを通してですが）お会いすることができました。難しいことは何も考えずに、ただ「あーみんなに会いたいな」という思いで見させていただきました。みはら園で勤務した27年間の内23年間肢体さんのクラスで過ごしました。ご家族の方と同じように私も本当にたくさんの幸せをいただきました。身に余るほどのご褒美だと思っています。今は放課後デイにおりますが、自分が幼児期にみていた子どもさんをみることもでき、ここでも又幸せをいただいています。 「普通に生きて普通に死ぬ」こんな当たり前なことが難しいなんて…、でも現実です。 それを頭に心にとめて、これからもみんなと一緒に笑って元気に生きていきたいです。 私の特技は「面白いことをしたり言ったりしてみんなを笑わせること」これからもたくさん笑ってもらって私も笑っていきたいです。 今日は素晴らしい上映会に来させていただきありがとうございました。 |
| 「普通に生きる」最初の上映会を視聴して以来再度拝見する機会に恵まれ、改めてでら～と、さぽ～とに携わった方々の全力投球の心入れが伝わってきました。 ※小沢映子さん、元美さんへ　住まいが出ら～との近くということもあり、知人に誘われてボランティアに参加しました。通所者の方は素朴でやさしく笑顔にいやされた一時でした。私的にはその後実父の介護、主人の介護とあり、お手伝いままなりませんでしたこと心苦しく思っています。過日久しぶりに元美さんにお目にかかりました折、上手に年を重ねられ、大事にされているようにお見受けしました。 |
| 利用者の子どもさんたちの笑顔がとてもよかった |
| 第1部の普通に死ぬと、第2部の普通に生きるを拝見しました。 ふたつの作品を通して、知らない世界が沢山あることを知る必要があると強く感じました。そして、当事者たちが声を上げることが第一歩にはなるが、その一歩を地域の私たちが一緒になって進んでいくことが必要だと感じました。 関西は人情が厚い印象があります。また、地域の人間性で、暮らし方は変わってきます。でも、みんな同じ人間なので、いつか、小さな地域で出来ていることがひとつの国で統一に、色んな人が自分のできる範囲で支え合って重度心身障害児者の方々やその家族とも笑顔で暮らして行けたら良いなと思いました。 この作品は興味のある人だけが見に来る形になっているので、なんか、高校とかで見れる機会があればまた世界は変わるのかなと思いました。 この作品と、この作品に出ている人達に出会えてよかったなと思います。 誰もが少しでも多く笑顔で暮らせる日々を送れるように、私のできることを考えたり行動に移していきたいと思います。 上映会を開催していただきありがとうございました。 |
| 一人ひとり大切な命を授かって生まれてきました。障害のあるないではなく、だれもが幸せな生活、温かい生活を営むことの大切さを改めて感じました。 |
| 同じ福祉で働くものとして考えさせられました。それに見合う賃金の担保は国の責任で行ってほしいです。 |
| 平凡、平穏な毎日を過ごす事に、感謝の気持を新たにしました。 |
| 自分が当たり前に生活できている事に何も疑問を感じていませんでしたが、この映画を観て当たり前がどんなに幸せなことなのかを考えるきっかけとなりました。 　一人の人間が生きて、死ぬのは当たり前ですが、この映画では、死ぬ事に対して下手に装飾せず、無理矢理泣かせるような映画にしないところに監督の思いが感じられました。 　今後、富士市民だけでなく全員が見るべき作品であると思いました。 　作品に携わっている方、家族、働く方、この会をつくってくれた方、皆さまに感謝します。 |
| 子を持つ親の気持ちは皆さん一緒ですね |
|  |
| 時間の都合で「普通に死ぬ」のみ見せていただきました。「普通に生きる」も別の機会があれば是非拝見させていただければと思います |
| 様々な理念や思いがあって、ということがよく分かって良かったです |
| 僕も障害者だけど、何か人の役に立てたらと思った。何かできるのでは、僕の家庭も大変なので、大変だけどこれが普通なのかな |
| 今生きている自分が苦しいとかつらい時とか、ついついそれから目を遠ざけて逃げる道ばかり考えてしまう自分の駄目さを痛感しました。その人の人格を尊重しすべてのことに感謝の心を常に忘れず、日々生きていける＆自分がいかされることに感謝して日々を生きてゆこうと痛感しました。 |
| とても心に残る映画でした |
| とても心の琴線に触れるというか、ひびくというか言葉が見つかりません。長く生命保険会社で働き、父の死をきっかけに介護資格を取り介護業界で働き重度の子どもたちのグループホームで管理者もやりました。現在はまた保険会社勤務ですが、重度の子たちと過ごした時間を思い出し地域で一緒に暮らすことの大切さを思い出しました。 志半ばで辞めてしまったのですが、映画を見終えて気づきました。もう一度携わってみたいなと。簡単なことではありませんが、自分にできることは何だろうと考えるきっかけになりました。ありがとうございました。 |
| 日頃気にしていませんでしたが、大変な思いをされている方がいると知りました |
| 「普通に生きる」とはどういうことか考えさせられました。 まりこさんの自立に向けて真剣に話し合いをするスタッフの皆さんに脱帽です。大阪までの取材を通して実によい説得力のある内容になりました。とてもよく分かりました。自分自身の生活、今後も考える機会となりました。 本当に良い機会を得ました。又特に女性たちの真実に向き合う真剣さ、まっすぐさ、パワーに力をもらいました。坂口さん、小澤さん、後に続く人たち、素敵！！ |
|  |
| 子供の将来、親の行く末を再確認する機会になりそうです。ありがとうございました |
| すごいことを見させて頂きありがとうございました。障害者（私の孫）を見ていましたが、私の孫はまだまだとても良いほうです。感謝しています。 |
| 障害を持っている本人とそのご家族、皆明るく頑張っている姿に感動しました |
|  |
|  |
| 普通について改めて考えることができた |
| 我が家の初孫が思いがけず脳性マヒと分かり不安でした。それで上映会に参加さいました。長女は都内で3人で過ごしています「普通に生きる」で兄弟2人とも障害児を育てているのは驚きでした。皆、笑顔があふれていてびっくりしました。長女夫妻も泣き言いわず生活して今年小学生になりました |
| 本人の意思を尊重されている。社会にでること、なかなか障がい者の事を本人目線で生活を考えていけることが難しいので理念の普通に生きる、普通に死ぬ、地域の方が支えていること、親の時間も大切だと感じた |
|  |
| 地域で生きること、普通に生きること、すべて切り拓いていって下さった皆さんに感謝です |
| 食事シーンで、お父さんの「何が好きか」言ってほしかった、という言葉が心に残りました。「何が食べたい」とか |
| 普通に生きるという事、社会で一人一人が生きてい行くことができる世の中であることが重要、皆で支えあっていく世の中 |
| 最期に乗馬などを体験して旅立つ事のできた女の子の生き生きした表情が印象に残りました |
| 私も頑張って生きてゆく勇気をいただきました。大変すばらしい映画上映ありがとうございました。これからの成長の記録も是非かんしょうしていきたいと思ってます |
| 感動しました　これからもガンバッて下さい |
| 初めてこういう映画を見ました。みんな必死で生きてる、育てている、そんな中思いを形に変えて、立ち上げてくれた小沢さん、素晴らしい人だと思いました。大人も子供もみんな素晴らしい。 そして映画監督さん、日常を撮ってくれて映画にしてくれて、多くの人がみてくれて、知ってくれて、応援できるようDVDを買いました。 |
| 大変な生き方、ご苦労されている人たちが多いですね、自分の倖せを感じないと罰が当たりそうです。今日は出かけてきてよかったと思います。自分自身もう少し、いろいろなこと感謝して過ごさないといけないと思います |
|  |
| 感動しました。私たちの知らない幸せがあることを知りました |
| 大変考えさせられました。社会で支える、大事なことですね |
|  |
| 普通に生きる事って大変な事、改めて感じました　ありがとうございました |
| 身内に障害者がいない事に映画をみせていただき感謝です |
| 知ることの大切さを痛感しました　ありがとうございました |
| 30数年前の筋ジス患者のドキュメント本を読んで興味深く考えてました。 娘も子供病院のNICU勤務、皇族も力を入れてます。 今回残念なのは監督のコメントかなと思います。 生死は個人個人の考え方があります。 なのに、監督は自身の考え方のコメントが長くて残念で後味が悪くなってしまいました。 こうしたドキュメント映画は余韻を残し、何ができるかじっくり考えたかったと。 スタッフの皆様ご苦労さまでした。 私自身もできることは頑張ります。 |
| 2011年でしたか、先行上映をイオン富士宮で見ました。その時も感動しましたが、時を経て親さんたちの人生とか「人とかかわることで存在感ができる」といった所長さんの言葉とか、たくさんの大事なメッセージかひびきました。一口に「社会全体で考えることだ」なんて偉そうに言えませんが、これからも忘れてはいけないという気持ちです　上映ありがとうございました |
| 生きること死ぬことに対して力を尽くす人々の姿に心が動かされました。誰もが普通に生きる権利がある、とてもたくましい言葉に勇気をもらいました。私も共に生き合いたい。 とても素晴らしい内容で多くの方々と分かち合いたいと思いました。 |
| 言葉を発せなくとも、顔の表情、手のしぐさ、身体全体から今何を感じ、何を伝えたいのかとても良く分かり、胸の詰まるシーンが何か所かあり、とてもいろんな思いをしました。疲れました…、が考えさせられました。ありがとうございました。 |
| ドキュメンタリー映画の素晴らしさを感じました。これからも素敵な作品を！！（後世に記録として残すことの大切さを強く感じた作品でした） |
|  |
| 子供も大人も普通に生きる力強さに感動しました |
| 見せていただいてよかったです。1週間前に大渕の図書館で小沢さんに会いまして、良い映画を見せていただきました |
| 力をいただきました。若い方々の親さんの力強さをうらやましく思います　家族の理解をしていただける方々の家族を知りうらやましいです。理解してもらえない自身は悲しいですが、協力して子供と生きていきます |
|  |
| 富士宮在住、富士市内勤務で医療職ですが施設の名前は知っていても、どういった施設なのかわかっていませんでした。病気を持ちながら在宅で生活している方との関りはありましたが、先天性の重度障害をお持ちの方や親御さんとのかかわりがなかったのが不思議なくらい、実はとても身近なことだったと分かりました。もっともっと地域全体で知り、関り、生活の一部になっていく必要があると強く感じました。 このドキュメンタリー映画はたくさんの人に知って頂きたい、心が震える素晴らしい内容でした。感動し、今後の生き方を考えるきっかけになりました。ありがとうございました。 |
| とても勇気をいただける作品でした。今後の自分の人生にもこの作品を通じて得た想いを反映させていきたいと思います。 |
|  |
| 次の作品を待ってます。まず自分が新しく生まれ変わりたいと強く思いました |
| 親としての思い、地域もまきこみたいという思いが行政を動かし、社会全体を動かしていったこと素晴らしいです。 |
| 親、親、親かな？子どもは？子どもの心が見えてこない施設の中の人間関係、福祉サービスの中での人間関係でしかないように思えてなりません。 その子一人一人に親友というようなお友達はいたのでしょうか？ |
| 地域で多くの方々が頑張ってきた歩みを知りました。感動的です。 |
| 当事者家族だけでなく社会の中で社会とかかわって生きていくために、当事者だけでなく社会のみんなに知ってもらうことはとても大事だと思いました。 |
| 無料での上映会ありがとうございました。今までこの中に入るのがこわくていました。今回みせていただきありがとうございます。一人の人生をしっかり考えるきっかけになりました。 |
| 親さんたちの大変さがよく分かった |
| 大変感動いたしました。スタッフの皆さんのご苦労も大変かと思いますが、ご両親も含めて皆様生き生きと明るく過ごしていらっしゃることにとても暖かく、見ていてうれしく感じました。ありがとうございました。ますますのご活躍、そして入所されている皆様のこれからのご健康をお祈りいたします。 |
| 地域交流がすごくとれている、うらやましく見ていました。宿泊訓練もあって、こういうことが日常にあると親がいずれ見れなくなったとき不安なく手放せる（という言い方も変だが）小林さんの言葉の「この先親元を離れても大丈夫だろうと思えるような気…」ちょっとなんていったのか忘れましたが、この気持ちがすごく分かって同感。ショートステイもあって良いなぁと思った。子どもたちを見てくださるスタッフも自然にとけこんでて、ほんとうにすばらしい　地域を育てていこう！という思いすばらしい |
| インくルふじでお仕事させていただいています。いつもかかわっている利用者さんや職員さんが毎日頑張っている姿を見ているので色々なことがわかって考えさせられました。自分も母親の介護をしているので、これからも自分にも色々なことがあると思うので、頑張ろうと思います |
| ・親御さんの力はすごいな！と思います ・子どもたちの一人一人の笑顔も素敵でした ・当事者でないと分からない苦しみ、みなおなじだなっ！ ・寄り添ってくれる場所があって良かったです |
|  |
|  |
| 義祖母、義理両親、夫を見送りました。その時に色々介護したことを思い出させていただき、ふりかえりました。 |
| 家族だけで支えるのではなく、障害を持ったお子さんを持っている家族を地域や行政がもっと寄り添って生活を支えていくこと、壁を作るのではなく本当の意味でのインクルーシブ教育の大切さを感じました。 身近にいる障害を持ったお子さんに対して、そのご家族に対して私たちが何ができるかを地域で考え合う機会を持つことをしていけたらと思いました。 「普通に生きる」についてもう一度考えるきっかけにもなりました。 |
| 環境を学ぶ機会になりました、ありがとうございました |
| 誰でも普通に生きる権利を持っていると思う、行政ではできないの？むずかしい事を力を合わせて成し遂げる強い力、きずながすごいと思う。わが子にそそぐ愛情の強さ、そしてそこで働くスタッフにも頭が下がる思いです。 |
| 重度な障害があっても、大勢の人に支えられて幸せな人生を生きることができることがわかりました。共生社会が、これからますます発展していくことを願っています。 |
| 医ケア児・者の介護をしています。看護師不足の中、医ケアのある人の親亡き後はどうなるのか心配しています。私も子供より1日でいいから長く生きたいと考えたことがあります。ヘルパーさんによる医療ケア、正直不安もありますが、ヘルパーさんのお人柄がわかれば安心できることもあります。少しずつ支えてくれる人を増やしていくことが必要なのかなと思いました。 |
| 形式やお金によって踏み込めない状態で滞る時、とにかく一歩前へ出ること、信念がすべてを解決することがある。その可能性が数パーセントでもある限り、行動することが必要であると感じました。ありがとうございました。 |
| 「家族の問題でなく、社会の問題としてみる」だれもが人間としてともに地域で一緒に生きる社会が当たり前となることをめざしたい。そんな心をもった人生を歩める人間になりたい。 |
|  |
| 社会を変えるには自分が動くこと、心が震えるを共有するという言葉に感銘した。ありがとう。 |
| 現状がどうなっているか知りたいです |
| 感動しました。大変良かったです |
| 重度の介護、大変さを見せられ、その努力に感動させられました。 |
| でら～とにデイサービスに行っていた「こうちゃん」を思い出した。こうちゃんは筋ジスの人です。私は訪問入浴でこうちゃんのうちに行ってました。こうちゃん元気かな？こうちゃんにはお姉ちゃんがいました。お姉ちゃんどうしているかな？こうちゃんといろいろおしゃべりしてました。 |
| 重度しょう害者への対応を改めて感じさせられました。 |
|  |
| 上映会をひらいてくれてありがとう |
| 心のふるえとともに「生き合う」という言葉がささりました |
|  |
| 映画は2回目です　以前富士宮の会場でみせて頂きました。ご本人も親御様も生き生きとしていらっしゃいました。 |
| 重度障害者の生き方は大変であることが分かった |
|  |
|  |
| 重度の障害をお持ちの方とそのご家族、支援者の方たちの思いや悩みそして支援の中に笑顔があることを知りました。障害があっても地域で暮らせる社会をみんなで支えていくことを　微力ですがお手伝いしていけたらと思います。 |
| 貞末さんのお話を伺って映画のことがよくわかりました。かかわった皆さんの努力を痛切に感じました。私は認知症の母を週1日看ておりますが、今はそれは幸せなことだと思えています。この映画を見てさらに勇気をいただきました。ありがとうございました。 |
|  |
| 自分が気になる事を　一生懸命にやっていた事が全部自分に返ってきている。また身について私のためになっている |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |